

平成29年度第1回千葉県医療審議会地域医療保健部会 開催結果

- 1 日時 平成29年8月29日（火） 午後6時15分から午後7時30分まで
- 2 場所 千葉県教育会館 新館501会議室
- 3 出席委員
(部会員：総数25名中21名出席)
田畑部会員、土橋部会員、川越部会員、松岡部会員、高部会員、石野部会員、木村部会員、梶原部会員、志賀部会員、永井部会員、上原部会員、黒河部会員、廣岡部会員、五十嵐部会員、實川部会員、星野部会員、中村部会員、亀田部会員、古関部会員、鶴岡部会員、平山部会員（順不同）
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 保健医療担当部長あいさつ
 - (3) 議事
 - ア 部会長の選出について
 - イ 千葉県保健医療計画の改定について
 - (4) 閉会
- 5 議事概要
 - (1) 部会長の選出について
千葉県医師会 田畑会長が互選により部会長に選出された
 - (2) 千葉県保健医療計画の改定について
 - 事務局説明
資料1から6により事務局から説明
 - 意見・質疑応答
(質問) 救急搬送時間がかなり延びてしまっていて困難事例という話があるが、受け入れ先の医療機関だけの問題ではなく、なぜそこが延びているのか検討しているのか。
(回答) 我々医療部門だけではなく消防のほうの関係等もあろうかと思う。

(意見) 搬送先が決まらない困難事例の受け入れ体制については、千葉圏域だけでなくほかの圏域も拡大して考えていくシステムのあり方を今後検討した方がよい。

(意見) 救急搬送については医療圏ごとに全然事情が異なると思うので、千葉県全体が全国で何番だといっても役に立たないと思う。

年齢階級のデータを65歳以上で区切っているが、2025年に75歳以上の高齢者が増えるからどうしようという話をしている。75歳以上の高齢者のデータを整理する工夫が必要だと思う。

(質問) 住民の救急蘇生法の受講率が全国は11.4で千葉県は8.4と千葉県は全国平均と比べて受講率が少ない。何か対策は考えているのか。全県下の中学校、小学校に対してAEDの訓練を実施してほしい。

(回答) 高校、県立中学、特別支援学校などの県立学校についてはしっかりとやっていく。若いうちから視野を広げていくことは非常に大事なことなので、小中学校についても今後、教育委員会と協力しながら取り組んでいきたい。

(質問) 病院の耐震化率は80%程度ということだが、耐震化の見通しはあるのか。

(回答) 災害拠点病院については、ほぼ耐震化されているが、それ以外の病院、特に民間病院については、金銭的な面があって、なかなかハードルが高いということで数値が上がっていかない。

(質問) 現行計画の評価指標の達成状況が示されているが、指標については今回見直すのか。

(回答) 今回は、現状を把握していただき、課題を抽出していただくという点で達成状況を示したが、この指標が適切かどうかということについては、1月に開催予定の医療審議会総会で御議論いただく。

(意見) 受診動向や終末期の意識など、県民が保健医療計画に能動的に関わっていくことが必要だと思う。また、地域包括ケアの理念が計画の中にもあるべきではないかと思う。

(意見) 小さな医療圏の小児医療は、赤字運営のため、政策医療にしていかない限り持たない。医師の働き方改革をこのような地域に当てはめた場合、医療が崩壊するだろう。国の問題ではあるが、県にも認識していただきたい。

○ 結果

意見を踏まえて資料を修正し、計画の改定にあたることが了承された。

7 閉会 午後7時30分